

科目コード	D1951	開講学期	春期	単位数	2	一般聴講	可	LA聴講	可	
授業科目名	情報理解基礎									
Course Title	Information Literacy									
担当教員	大柳 陽一						責任教員	大柳 陽一		
曜限:日程	水1									
対象学年	1年	必修	2年	—	3年	—	4年	—	重複履修	—

授業のねらいと到達目標

現代社会に生きるうえで「情報を得ること」と「情報を発すること」を「正しく行うこと」は非常に重要です。学生時代に身につけておくべき重要な素養のひとつでもあります。本講義では、それらを多角的に学ぶとともに、その「品質」を高めるための方法について考えます。並行して「知識とは何か」についても検討します。

授業計画・春期

情報を「得ること」と「発すること」について研究します。情報を得ることについては、講義で示される内容（口頭／板書／スライド等）を受講者が内容を取捨選択しまとめる作業などの中で、情報を発することについては、レポートや簡単な発表の演習の中で、それぞれ実践的に学ぶように考えています。これらを前提に、講義では「レポート作成の周辺」について具体的に学びます。「レポート」を作成することは、大学での学習において、非常に重要な位置付けにあります。内容のみならず、適切な表現をしていることが要求されます。本講義では主に、表現の「理論」と「技術」を扱います。講義の中で「タイポグラフィ」や「アウトライン化」等のキーワードについて掘り下げ、この過程で「情報を紙面にレイアウトする」ための技術を身に付けます。

尚、本講義は教科書を指定していますが、講義はこれらに沿って進めません。非常に離散的で、様々な分野の話題に飛びつつ講義を進めますが、取り上げる内容は全て、お互いに関連しています。受講生は、常に取り上げられる話題の意図や関連を能動的に考える必要があります。端的に言って「極めて難解」な講義です。各自自覚されたし。

授業計画・秋期

評価方法

受講姿勢、出席状況、演習（レポートや課題発表も含む）内容、期末レポート等を総合的に評価します。

学内販売予定教科書

(1) レポート・論文の書き方入門 第4版, 河野 哲也, 慶應義塾大学出版会, 2018/7/13, ISBN978-4-7664-2527-7

(2) 要点で学ぶ、デザインの法則150 -Design Rule Index, ウィリアム・リドウェル他, BNN新社, 2015/10/16, ISBN978-4-8610-0978-5

その他の教科書・教材

論文を書くための科学の手順, 山田 俊弘, 文一総合出版, 2018/10/23, ISBN978-4-8299-6531-3

参考文献

学生に望むこと・その他

常に離散的に話題を提供するので、各自講義ノートを用意し、内容を纏めることを強く求めます。学生一人ひとりが、この講義を自主的／自律的な時間にすることを求めます。質問／相談を歓迎します。

履修要件